

代々木VILLAGE内「MUSIC BAR」の移転が決定！

「SHIBUYA MUSIC BAR」 2021年春、渋谷にオープン予定！



株式会社 KURKKU (所在地：東京都渋谷区)と株式会社TRANSIT GENERAL OFFICE (所在地：東京都渋谷区)が共同で運営するMUSIC BAR(代々木VILLAGE内)は、2021年春に渋谷区渋谷へ移転をすることを決定いたしました。

MUSIC BARは代々木駅徒歩2分の商業施設「代々木VILLAGE」内に位置し、最高峰の音響設備による、音楽を最良の音質で、お酒と共に楽しむ豊かな時間を提供するというコンセプトで、オープンから9年間たくさんのお客様にご愛顧いただきました。代々木VILLAGEの閉館とともに、2020年12月29日(火)を最終営業日として営業終了となりますが、この度渋谷への移転が決定いたしました。

不朽の名盤から最新音源まで、音楽家 小林武史らが厳選した3,000枚超のアナログレコードライブラリーを、最高峰サウンドシステムでDJがプレイ。音楽家がつくる“音楽と出会う”贅沢な時間が流れる中、お酒やお食事をお楽しみいただけます。2021年春、SHIBUYA MUSIC BARでまたお会いしましょう。

ACCESS

{ ADDRESS }
東京都渋谷区渋谷1-15-12 LAIDOUT SHIBUYA B1F
JR線 / 東急東横線・田園都市線 / 東京メトロ半蔵門線
・銀座線・副都心線 /
京王井の頭線 「渋谷駅」徒歩1分 (B1出口)

{ URL }
<http://laidout.jp/>

Message from 小林武史

音楽業界で長く活動させてもらっているうちに、いつの間にか、日本ではポピュラーミュージックはJ-POPになったし、カテゴリー別にはエンタメと呼ばれるようになった。しいていえば、最近、適材適所を踏まえた、それぞれに役割がある音楽が増えているのだろう。それが悪いということではない。

比べて1960年代前後の洋楽と言われるロック、ジャズ、ブルース等の音楽には（邦楽の場合は少しずれてブームの波が日本流にアレンジされて訪れていたが）その時代が抱えている問題を、切り開いて、さらなる新しい場所に近づいていこうとする力があつた。多くが体制や既存概念に対してのカウンターから生まれた音楽であつたし、それ自体がカウンターのカルチャーを生んでいった。それは「みんなが自由に生きていい」というメッセージだっただろうし、「みんな多様でそれぞれ違っていることがすばらしい」という願いも込められたものだった。

コロナ禍の中で、アメリカの分断社会をはじめ、経済のアクセルやブレーキの使い方による分断など、多くの分断が僕らに「早くどちらかを選択しろ」と迫ってきてるような気さえする。「間」が大事なはずだ。In between. その「間」で響くもの、響かせるもの、つないでいくもの、前述した音楽たちは、壁を壊しながらそこにある「間」に「いのちのてざわり」を鳴らしながら、カルチャーを生んでいった。そこに共鳴や共振があつた。

code kurkku / MUSIC BARは、9年かけてそのことに気づいてきたように思う。そして現在、そういう音の場が未来に向けても必要なのではないか。

残念ながら代々木VILLAGEのMUSIC BARは惜しまれつつ閉店をするが、背中を押してくれるアイデアが生まれて、2021年の4月をめどに渋谷に引っ越しすることを決めました。

自由に多様な使い方に楽しみ方に答えられるような場にしていきたいし、code kurkku時代よりもコンパクトだが、MUSIC BARとの進化した関わりをピストリ的な食を通じて楽しんでもらえるようになると思う。

みんなや、みんなの周りにも潜んでいる分断を、「いのちの音を響かせる」ことで埋めていく、響かせていく。大げさかもしれないけど、そういうことが必要だと感じている。「人間も自然の一部」だということを、コロナ禍の中もアフターコロナも、アナログの機材も使いながら感じていきたい。

McIntoshのアンプとどデカイTANNOYのWestminsterのスピーカーとともに来年、渋谷でお待ちしております。

小林武史



< 本件に関するお問い合わせ >

株式会社KURKKU 担当： 飯田

E-mail : press@kurkku.jp